

令和4年度第1回唐津市有線テレビジョン放送番組審議会議事録

1 日時

令和4年11月25日（金） 午後2時00分～午後2時54分

2 場所

唐津市役所本庁 3階 災害対策本部室

3 出席した委員 8人 （敬称略）

松尾 盟子、中村 隆、古藤 広基、境 小夜子、森山 絢子、田中 正人、
谷口 博憲、市丸 ひさ子

4 出席した事務局職員 4人

政策部長 堀田 信

広聴広報課長 石崎 有希子

広聴広報係長 谷口 正泰

広聴広報係 円城寺 俊克

5 議事の経過と発言者の発言要旨

別紙のとおり

発言者	内容
司会 (谷口係長)	<p>定刻になりましたので、ただ今から、令和4年度第1回唐津市有線テレビジョン放送番組審議会を開催します。</p> <p>委員の皆様には、ご多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日司会を務めます、広聴広報課の係長の谷口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、昨年度の番組審議会から事務局の職員が代わっておりますので、紹介させていただきます。</p> <p>課長の石崎です。</p> <p>チャンネルからつを担当している円城寺です。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではここで、堀田政策部長がご挨拶を申し上げます。堀田部長よろしくお願いいたします。</p>
堀田政策部長	<p>本日は、お忙しい中、令和4年度第1回唐津市有線テレビジョン放送番組審議会にご出席いただきありがとうございます。また、審議会委員として本市の広報政策の推進にご尽力いただきますことに対しまして、重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>例年、審議会は7月頃に開催しておりますが、庁舎移転と重なりこの時期の開催となりましたこと、ご理解お願いいたします。</p> <p>新庁舎移転後の8月には「唐津市ニュース」をリニューアルするなど新しい放送施設でチャンネルからつの番組制作に取り組み、市内全域に情報発信をしているところでございます。</p> <p>本日の審議会は、委員の皆様からの率直なご意見を伺い、今後も行政放送に対する市民の皆様のご要望に応え、放送番組を充実させて参りたいと思っております。</p> <p>委員の皆様には、どうか忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>(堀田部長は用務のため、ここで退席)</p>
司会 (谷口係長)	<p>次に委員の出席状況ですが、落合委員、田代委員、打越委員から欠席の連絡を受けております。本日の委員の出席は、8人でございます。本審議会の全委員11人のうち、2分の1以上の委員さんが出席されていますので、審議会条例第5条第2項の開催要件を満たしていることを報告いたします。ここで一つ皆様にお願ひがあります。</p> <p>発言をされる場合に、お一人1台ずつ今マイクのほうを設置しております。マイク台の下の丸いボタンを押していただき、赤いランプが点灯してから発言をしていただきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。それでは、これからの議事進行については、会長が議長を務めていただくこととなっておりますが、本日落合会長が欠席のため、副会長である松尾委員に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
議長 松尾副会長	<p>それでは議長を務めさせていただきます松尾です。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議事の(1)放送番組について、事務局から説明をお願いします。</p>

発言者	内容
事務局 (円城寺)	《資料3ページから7ページの概要を説明》 《審議会での主な意見に対する対応についてを説明》 説明は以上です。
議長 松尾副会長	事務局からの説明について、ご質問やご意見はございませんか。
田中委員	3ページのニュースの放送件数とか4ページの日替わり放送の件数ですけど、これは令和3年度がコロナの時期ですよ。今年度、4年度がだいぶコロナがおさまって増えてきているということですけど、コロナが全然なかった頃の数字からすると、どういった傾向になっているんでしょうか。
事務局 (円城寺)	日々の毎日流しているニュースがだいたい日で3本とか、3件ほどイベントとかに行かせていただいて放送しておりまして、昨年とかだと、日に1件、コロナがひどい時だと1件ぐらいで、コロナがなかった時にはだいたい3件から4件ほどというイメージですね。なのでコロナがなかった全盛期に比べると、まだ少し劣っているというイメージです。
事務局 (石崎課長)	補足で言いますと、平成30年度はニュースのほうだけなんですけれども、506件ありました。元年度が431件、ニュースだけの件数ではそのようになっております。
中村委員	<p>通常の民放とかと違って、行政放送というのは、やっぱりわかりやすく、正しく、間違いなく届けると、高齢化になっているので、やっぱり見やすくとか聞きやすくとか、そういう部分が大切になってくるだろうなあと考えてます。</p> <p>ニュースとしてのとらえ方としては、やっぱり世の中の情勢がどうであれ、ニュースはたくさんあるわけなんですよね。ですから、現場の作る側の感覚にもよるんですけども、情勢がいろいろ変わったりとか、例えばコロナになったからとか、景気が悪くなったからとかいうのはですね、実は放送の中でもあまり関係ないということなんです。今のこういう状況の中でも市民の皆様には伝えるべきニュースはたくさんあると思うんですよね。だからそこをやっぱり、しっかりウォッチをして、しっかり追いかけて市民に伝えるということが大事なんじゃないかなと、考えてます。</p> <p>もちろん、その件数も大切なんですけれども、日頃からやっぱりこの地域を見つめるとか、住民はどういうふうにか、行政のあり方はどうなのか、そういうところを見とかないと、なかなかそれをニュースにして市民に伝えるという感覚はできないと思います。</p> <p>もちろん件数の件もあるんですけども、件数じゃなくて、世の中の情勢は左右されなくて、ニュースというのはやっぱりしっかり届けるべきだと思います。</p>

発言者	内容
事務局 (石崎)	ありがとうございます。そうですね。どうしても件数となるとちょっとイベントとか、そういったものを中心にしたニュースになるところもありますので、委員がおっしゃったように、イベントとかそればかりに左右されずに伝えたいところとかの取材も行なっていきたいと思っています。
議長 松尾副会長	それでは続きまして事前に送付しておりましたDVDを観てからのご意見や、日頃チャンネルからつの番組を観てのご意見など、委員の皆さん加らありましたらお願いします。
境委員	<p>視聴DVDを拝見させていただきまして、その中で大変関心を持って観させていただいたのが、市報からつ200号記念の小学生とのコラボ、市報のページを作ってみようという、20分間の特集番組。非常に興味深く最後まで観させていただいて、増田敬太郎さんという巡査、あの方がおられて、その地元肥前町の高串地区に起こった伝染病コレラとの闘いについて、地元の小学生の地元の方に取材をした内容であるとか、試みられた内容であるとか、そういったところを切り取ってカメラに収めていただいて、編集を加えていただいて、非常に見やすいものに仕上がっているなあというふうに思いましたし、地元の小学生が増田敬太郎さんの姿を通して、そのように人のために尽くすであるとか地元のために力を尽くしてくださった巡査に対する感謝の念とか、そういったものを後世語り継がれていられるような、地元を誇りを持っていられるような、そんな思いというのを引き継いでいけたら、大変いいことだなあというふうに感想を持ちました。</p> <p>それで私も不勉強でなかなか知らなかったんですけど、増田さんって熊本生まれで、非常に大変優秀な方で、3か月の課程を10日で終わり切ってしまうような、そんな大変優秀な方。</p> <p>しかも25歳という若さで亡くなってしまわれた。コレラに感染されて最後はですね。なぜそんな若い将来性有望なその青年巡査1人を亡くしてしまわねばならなかったのかという点が、小学生にはそこまで掘り下げて取材することは難しいでしょうけれども、中高生の取り組みとして、そういうものですね、例えば政治行政の視点であるとか、医者視点であるとか、地域住民の視点であるとか、そういったものを複合的に包括することによって、そこに介在した問題とか、そうではない非常に頑張られたことであるとか、それがより一層、鮮明に浮き上がってくるんじゃないかなあというふうに思いましたし、地元の方が大変に感謝されている様子も小学生の取材ではわからせていただきました。</p> <p>大変おもしろかったです。あと民泊のすすめの取材も、私は特集番組が大変楽しかったですね。ありがとうございました。</p>
事務局 (円城寺)	貴重なご意見ありがとうございました。境委員が仰られるように、もう少し深掘りした、今回はちょっと小学生に焦点を当てさせていただいて番組を作成したんですけども、そういったふうにちょっと違う視点ですね、増田巡査がなぜ亡くなられたんだろう、そこは防げたんじゃないかとか、そこらへんの深い疑問の所を番組にする

発言者	内容
	<p>という視点も非常におもしろいかなあとと思いますので、また番組のスタッフ等と話して、そういった別の視点からの番組制作というものなどもちょっと考えていきたいなと思います。貴重な意見ありがとうございました。</p>
市丸委員	<p>境さんと同じで、私は民泊を、以前七山が結構力を入れてしてあった時に、神戸から民泊を受け入れられて、うちはちょっと老人の介護もしてたので、農業体験だけを受け入れを、民泊は受け入れるけど、家が農業じゃないので農業体験をお願いしますということで、早朝からキュウリをちぎりに来てもらったりとか、その時がちょうど神戸の震災の時に生まれた時の子どもさん達で、何かやっぱりそういうことがあったから大切に育ててるんだなあというように、本当にいい子達ばかりだったんですね。</p> <p>それで何かその子達の印象が強くて、民泊はそのままなくなっているのかなあとと思ってDVDを観たら、ああ、また始まっているんだなあと思ってですね。</p> <p>なかなか受け入れるのは大変だけど、そういうのを力を入れていかないといけないなあというのは感じました。私の子どもも熊本とか何とか農業体験でお世話になったんですね。それで自分の家もそういう受け入れをやっぱり考えないといけないなあと少し思いました。</p>
森山委員	<p>民泊なんですけど、受け入れる側が少ないのがすごく課題だというふうに仰っていたと思うんですけども、DVDの資料を観させていただいた感じだと、本山さんだけが取材をされて、とても特徴があって、ヤギを飼ってたりとか、あとご自分でお米を普通の炊飯器じゃない機械でやったりなど、すごい特徴的なご家庭かなというふうに思ったので、ほかの方達がどういう形の民泊で受け入れて、お子さん達をいろんな体験してるのかなというのをもうちょっと見ないと、やっぱりほかに何か興味があったりとか、ちょっと受け入れてみたいなって思ってる方とかも、あれぐらい完璧にしないといけないのかなという不安がすごくあって、私もちょこっと興味あるんですけど、ほんと農業とかも全然してないので、一般家庭で受け入れることが可能なのかどうかということもちょっとわからないので、何個かほかの所とかも取材して、見れると、視聴者の方とかも選択肢が広がるんじゃないかなあというふうにちょっと思いました。</p> <p>ちょっとあれだけ見ると、あんなにやるのはなかなかやっぱり環境が整ってないと難しいなあ。</p> <p>もちろんすごい素晴らしいですし、お子さん達もすごくいい体験ができると思うんですけども、ハードルがちょっと高いなあと思って。もうちょっと低いのであれば、都会から来て、やっぱり唐津はすごい自然に囲まれて、私も移住者なので、やっぱり唐津の良さってすごくあると思うんですけど、それぞれお子さんに提供する体験で違うと思うんですよ。</p> <p>なので、もうちょっといろいろなことをちょっと見させていただい</p>

発言者	内容
	たほうが、受け入れる家庭とか、ちょっと手が挙がりやすくなるんじゃないかなあというふうに思いました。
事務局 (円城寺)	<p>仰られる通り、私達も取材当初は、あそこまで完璧なご家庭だとは思わずにですね、釣り体験とかをするよというのは聞いてたんですけど、まさかおうちに羊といますか、動物がいたりとか、まだちょっと知らなくてですね、番組としては非常に濃厚な番組にはなったんですけども、当初の目標としていた、いろんな方々に民泊を受けてもらえるようなイメージを持ってもらうという目標に対しては、ちょっとずれてしまったのかなあというところが正直なところでございます。</p> <p>民泊の取材に関してなんですけれども、ちょっと学校側との話もあって、やっぱり放送しないでくれとかの兼ね合いもあって、本当は今回視聴DVDに入れさせてもらった内容をYouTubeのほうに動画をアップして、全国の方々にも観ていただけたらなあと思ってたんですけど、それもちょっと学校側から、それはやめてほしいということでストップがかかったりというところで、民泊に対してはちょっとその辺のハードルが難しい面もあるかなあというところと、あとやはりご家庭を映させてもらうので、どうしてもその受け入れ側のご家庭の方の、ちょっと家はという場合も出てくるかなあと思ひまして、そのへんが正直その番組を制作する側の課題かなあと思っております。</p>
森山委員	<p>中には知り合いで、少女まんが館（唐津ゲストハウス）の池田さんとかされているってお聞きしたので、そこは家ではないじゃないですか。</p> <p>そういう商売をされている方とかの受け入れもたぶんあると思うんですよ。そういう方でしたら、またちょこっと違うし、視点も変わってくるので、それは難しいんですか。</p>
事務局 (円城寺)	<p>そういうパターンは私も初めてお聞きしましたので、そのような宿泊施設を持たれている所とかですね、そういうのは取材できるかなと思ってまして、今年は本山さんの所をさせてもらったんですけども、また来年も民泊をどうにか、もう少し一般家庭寄りといいますか、ハードルが低くなるようなご家庭を紹介できればなあと、ちょっと計画はしておりますので、そういった視点を中心に、次は番組を作っていきたいかなあと思っておりますので、その時にはご視聴いただければなあとと思います。</p>
中村委員	<p>放送するといろいろな意味で影響が大きいんで、作る側もやっぱりディレクションをする側もしっかり考えないといけないと。</p> <p>間違っではないんですけども、民泊の定義を間違えているというところが実はあるんですよ。民泊というのはお客さんじゃないんですよ。そこそれぞれの普通の生活の中に入り込むという、特別なことをしないというのが定義に実はあるんですよ。それを実はこの観ていただいた番組はですね、特別なことをしてるんです。日頃の生活、日常の生活から逸脱している所だけを出していると、民泊</p>

発言者	内容
	<p>ってこんなに楽しいんですよと、こんなこともできるんですよというのを実は出してるんですよ。</p> <p>でも民泊と違うんですよ。定義がですね。やっぱりその地域で普通どういう生活をしているのかと、特別な何か猫がいる、犬がいる、馬がいるとかそういうことじゃなくて、その家庭を味わう、体感すると、その景色を見ると、そこのそれぞれの味を知るところが実はあってですね、その観点から見ると、何かこう、民泊は楽しいんですよ、民泊をどんどんしまししょうという流れになってるんですけども、本来は全然受け入れる側も来る側もですね、勘違いをしたらいけないんですよ。</p> <p>安くで泊まれるとかおいしい物を食べれるとか、釣りに行けるとかいうのが当たり前の民泊になってくるとですね、これは受け入れる側の負担が相当かかってくると。そうじゃないと。サラリーマンの家庭でもできないんですかという話があるんですけどね、それはできるんですよ。サラリーマンの家庭の本来のあるべき姿、朝行って夕方帰ってくると、こういうふうにしてお父さんはこうするという姿をやっぱり見せるというところがですね、民泊の本当の大切なんですけども、今は番組（もありき）、森山さんも言われたように、何かこう、お客様になっているんですね。</p> <p>ここをしっかりと作る側も考えてやらないと、どんどんどんどん楽しい方向に行ってしまう。何かこう、イベントを映しているというような感じになるんですよ。ですから、もうちょっと、今から軌道修正はしなくていいんですけども、いつかはやっぱり民泊という、深掘りをした意味をわかってもらわないと、方向がこう、観るほうの分、受け入れる人の方向がずれてくるといふのがあるんです。</p> <p>これは影響が非常に大きいと思うんですよ。こんな民泊私達にはできないよという声はですね、実はものすごく深い話なんですよ。もう全く違う話なんですよ。そのあたりを制作側がもうちょっと、どこに持って行くのかと、それはもちろん最初は民泊しまししょうね、人がいっぱい来てくれて、その対象者があつたらいいよねというところではいいと思うんですけども、本来から外れていくとですね、非常に本末転倒になるみたいな気はします。</p>
事務局 (円城寺)	<p>貴重な意見ありがとうございます。確かに中村委員がおっしゃられる通りだなあと考えてます。ただ、市役所職員にも民泊、実は受け入れていいんだよということで、担当課から募集があつたりもしたんですけど、いざ自分の家で受け入れられるかなと思ったら、でも日中何をさせたらいいんだらうとか、そういうところもちょっと悩んだりとかですね。</p>
中村委員	<p>いや、そこを理解しないと、たぶんこの民泊というのは特別なものしかないので、例えば市役所お勤めの所は朝こういうふう起きてこうやって行って、一日中（空いてる？）んだぞという姿でもいいんですよ。そこで休んで何かをさせるとか、そういう休むのは土曜午後から、日曜からその姿を見せて一緒に遊べばいいんです。そこで無理をすると、日常とは違う、さっきも言ったように民泊の</p>

発言者	内容
	<p>本来の目的から外れるんですよね。このへんが最終的にわかっていただければ、ひょっとすると底辺が広がるかなあと。来る側のほうも受け入れる側のほうもそうだと思うんですよね。そのへんをもう少しちょっと考えて。</p>
<p>事務局 (円城寺)</p>	<p>確かに私達もですね、この番組を作る責任といいますか、それがあ る意味イメージづいてしまうというところはあるかと思いま すので、そのへんはちょっと担当課とも、本来の民泊のあるべき姿、理 想的な姿というのはどうなんだろうかというところも話しながら、 来年度以降番組を作る場合は考えたいなと思います。</p>
<p>谷口委員</p>	<p>せっかくの機会ですので、皆さんが民泊のすすめですかね、これを 発言されましたので、私も今日お話ししたいのは民泊のすすめだっ たと思います。</p> <p>私は実は数十年前もですね、このような高校生、中学生の民泊の受 け入れをした家庭なんですよ。最近は全然しておりませんが、あ る問題があつてちょっとやめたんですけど、確かに今回観た番組で はですね、うちは呼子ですから、当然夜は、夕方といいますか、ウ ォーキングすると、魚釣りを子ども達してるんですよね。それはよ くわかるんですが、本来ならば男性の子どもじゃなくて、女性の子 どもが何をしてるかというのを私は知りたかったんですよ。という のが、私の家庭では中学生も高校生も女性ばかりしか受け入れませ んでした。それで男性の子どもの気持ちはよくわからないですけど、 最近そういうふうな話を聞きまして、民泊の話をテレビで拝見しま したけど、ちょっとね、その女性を受け入れた家庭がどういうふう なことをされているのか、それを一番知りたいなあと思いました。 それともう一つは、以前は何ていいますか、民泊をしても自分の家 内任せで、私達は何も協力してませんが、本山さんですかね、この ご夫妻の方は、男性の方が魚を料理したり、そういうことをされて すごいなあと、時代が変わったのかなと思いますし、見せるための 映像づくりだったのかなあとという、ちょっと気もしますが、本来 はただ民泊をどんなふうにしていくかということと、やっぱり受け 入れる方が減ってきているという話もちょっと聞きましたけど、そ のへんがどうかなあと。</p> <p>実は私が数年前にやめたというのがですね、女性の子どもだったん ですけど、私達は通りいっぺんで、呼子ですから名護屋城博物館と か九州電力の見学とか、そういうのを見学しに行くんですけど、来 た子どもは、そういう所は行きたくない、行きたいのはイオンで すかね、昔はジャスコと言ってましたけど、そこに行きたいと、そ こに連れて行ってくれだったから、ああ、やっぱり考え方が違うん だなあとということと、もう一つはその高校生の方は全員がアルバ イトしていると。だから家に帰っても親がいないという話をされま した。それでそういうふうな名護屋城の博物館とか、そういうものは 見たくない、楽しい所へ行きたいということで、たまたまジャスコ がありましたし、鏡山に連れていくと、海を見て、虹の松原の海岸 に行きたいと。そういうのがやっぱり興味を持ったという感じがす</p>

発言者	内容
	<p>るんですね。 実際に家の中では、受け入れ側の中では何をしたかと、ちょっと私興味はありませんけど、そのへんが実際に男の子は魚釣りとかそのぐらいの遊びはあるかもしれませんが、女の子は何をどういうふう にその家庭の方がされているのか、それをちょっと知りたいなと思 いました。何か話がちょっととりとめのない話になりましたけど、 そういうちょっと気になった所を今お話しさせていただきました。</p>
事務局 (円城寺)	<p>ご意見ありがとうございます。今回は男子生徒の子達ばかりのおう ちに伺わせてもらったんですけども、確かに私もちょっと女子生 徒の場合は何をするんだろうかというのは確かに思っていたところ ですので、もし来年こうして作る場合に、女子生徒の所が取材可能 であれば、積極的に行きたいなと思っております。</p>
古藤委員	<p>民泊はちょっと私あまりわからないんですけども、私が好きな のは、7つの島通信が非常に島めぐりをしたい、一度は行ってみたい と思っておりますけれども、まだ行ってないところなんです、行 きたいなと思っていつも興味深く観ています。行政放送の中で大変 苦勞されてらっしゃると思うんですが、放送とは別内容になるん ですけども、今浜玉のほうでは光テレビの工事がどんどん進んで まして、たいてい来年度にはもうつながってしまうだろうと思 うんですが、全市的につながった後、チャンネルからつはどの なるんでしょう。今のまま続けられていくんでしょうか。言いに くいところ でしょうけど。</p>
事務局 (石崎課長)	<p>今のところチャンネルからつは続けていくというふうの方針を決 めています。ただ、どういったかたちになるかとかはですね、それ はまだ議論、協議していかないかところはあるかと思 います。</p>
古藤委員	<p>線路網は全部民間さんのになるという（話）ですか。</p>
事務局 (石崎課長)	<p>そうですね。はい。</p>
古藤委員	<p>じゃ、それを借りて流すかたちになるとですよね。</p>
事務局 (石崎課長)	<p>はい。その線を借りてということにはなると。</p>
古藤委員	<p>まだ（番組審議会）がそのまま続くということですね。</p>
事務局 (石崎課長)	<p>そうですね。はい。どういったかたちになるかわかりませ んけれども。</p>
古藤委員	<p>はい。わかりました。ありがとうございます。</p>
議長 松尾副会長	<p>それでは続きまして議事の（2）唐津市有線テレビジョン放送番組 制作計画、唐津市有線テレビジョン放送の編集に関する基本計画の 改正について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (円城寺)	<p>《資料8ページから9ページと別紙で改正箇所を説明》 説明は以上です。</p>

発言者	内容
議長 松尾副会長	<p>事務局からの説明について委員の皆さんからのご意見やご質問はございませんか。ご意見もないようですので、これより議案の唐津市有線テレビジョン放送番組制作計画、唐津市有線テレビジョン放送の編集に関する基本計画の改正については、原案どおり異議なしと答申することにご異議ございませんか。</p> <p>では異議なしと認めます。議案唐津市有線テレビジョン放送番組制作計画、唐津市有線テレビジョン放送の編集に関する基本計画の改正については、原案どおり異議なしと答申することといたします。</p> <p>そのほかにご意見等ございませんでしょうか。よろしいですか。</p> <p>ほかに意見がないようですので、議事についてはここまでにしたいと思えます。ありがとうございました。それでは事務局の方にお返しします。</p>
事務局 (谷口係長)	<p>松尾副会長ありがとうございました。本日は様々なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。今回いただいたご意見を持ち帰って、また精査して、今後番組の作成にあたっては、イベントだけにとらわれず、地域で（得られた）市民に役立つ情報を正しく、親しまれるような番組にするよう努めてまいりたいと思えますので、これからもよろしくお願いいたします。それではこれもちまして令和4年度第1回唐津市有線テレビジョン放送番組審議会を終了させていただきます。皆様ありがとうございました。</p>